

歯っぴいらいふ2024年12月号

あたらし歯科医院

歯科衛生士 栩木 誠子

残すこと一か月となりました。2024年も終わろうとしています。

この一年歯自然災害も多く大変な思いをされた方も多くいらっしゃいました。

一日一日を精一杯自分なりに一歩一歩進んでいきましょう。

今年一年をふりかえり新年に向けて手の届きそうな目標を掲げ、それに向かって進んでまいります。

さて今月の歯っぴいらいふは先月からの内容に続き悪いかみ合わせと歯並びについて、そして矯正治療について書かせていただきます。

不正咬合といっても色々あるのです。

分かりやすく分類してみましよう。

- ① 八重歯、乱ぐい歯
- ② すきっ歯
- ③ 出っ歯
- ④ 上下顎前突
- ⑤ 受け口
- ⑥ 交叉咬合
- ⑦ 過蓋咬合
- ⑧ 開咬

八重歯、乱ぐい歯・・・歯がデコボコに生えている歯並びで、顎が小さく大きな歯が並びきらずに起きる結果で、八重歯を伴っているケースも多くみられます。

八重歯はかわいらしいチャームポイントと言われていることもあったり人によってはあえて八重歯にしたいと希望する方もおられます。

ただところ変われば欧米では八重歯に対しては、マイナスなイメージでしかないようです。

やはりきれいな歯並びが理想なのでしょう。

すきっ歯・・・①の乱ぐい歯とは違い歯が小さいなど、あるいは数が足りないなど歯に比べて顎が大きいなどの事から、歯と歯の間に隙間が出来てしまう歯並びです。

出っ歯・・・上の前歯、上顎が前へ突き出ているかみ合わせで日本人には多くみられます。

上下顎前突・・・上の前歯と下の前歯が突き出たまみ合わせで口元も出ている状態です。

受け口・・・下の前歯や下顎が前に突き出た状態です。前歯が反対にかみ合っている状態です。

交叉咬合・・・上下の奥歯が横にずれて、反対になっているかみ合わせで正中線がずれていることが多いです。

過蓋咬合・・・上の前歯が下の前歯に深くかぶっている状態です。時には下の前歯が上の前歯にしっかり噛みあうことで、見えなくなるくらいの方もおられます。

開咬・・・奥をしっかり噛んだ時前歯がかみ合わなくて上と下の前歯の間に隙間が窓のように悪状態をいいます。



叢生 (そうせい) = 乱杭歯



上顎前突 (出っ歯)



下顎前突 (受け口)



開咬



空隙歯列 (すきっ歯)



過蓋咬合

このように分類しただけでも8つの種類があり、一つ一つを説明したら頭の中が、パンクしそうですね。(笑う)
ではなぜ不正咬合が起こってしまうのか？
その原因を紐解いてみましょう。



現代人の顎が小さくなってしまったのも原因です。

遺伝の影響もあります。

歯が並びスペース、顎の問題がある場合、むし歯による影響を受ける場合、などございます。

また口呼吸や生活上の癖、などが関係することもございます。

不正咬合をそのままにしておくと、生活への影響もあります。

歯並びや顎の形が気になり、性格や対人関係にまで影響を与えることもあります。

消極的になってしまう事もあり発音への影響も考えられます。

まずは自身の口腔内の状態をよく観察し、矯正を考えられるのであれば信頼できる歯科医を探してください。そして相談してみてください。

また口呼吸や生活上の癖に関しては自分でも改善できますのでまずは気にかけることです。



アレルギーなどがあり、鼻炎で鼻づまりや、扁桃肥大のため

口呼吸をするために起こる不正咬合もあるのです。

いつも口が開いていると歯を唇で抑える力が弱くなることで

舌の位置が変わることで、歯をお酢などの筋力バランスも壊れ

てしまいます。そしてすきっ歯や、出っ歯の原因となってしまう事があります。

生活上の癖としては、指しゃぶりなど長く続けていると指で押す力が歯を動かし開咬や出っ歯の原因となる事があります。

前歯で下唇や舌を噛む癖やハンカチを噛む癖がある人も開咬につながると言われています。

また片側だけ頬杖をつく習慣を続けると下顎をゆがめてしまう事にもなりかねません癖の問題では、自身で気がつかないことも多いです。

人から言われて癖を知ることもありますよね。

周囲の方が気にかけてあげてください。



以上で今月の歯っぴらいふは終了です。

年始からも引き続き矯正について書かせていただきます。対策や治療法について書かせていただきます。

毎月歯っぴらいふを書かせていただき、17年と長きに渡り連載しております。

これからも皆様にわかりやすく、歯の事だけではなく様々な情報発信ツールとしてつながれば幸いです。

皆さまにとって幸多き一年を迎えられますように願いながら、2024年12月号を締めくくります。

あたらし歯科医院歯科衛生士 栩木 誠子